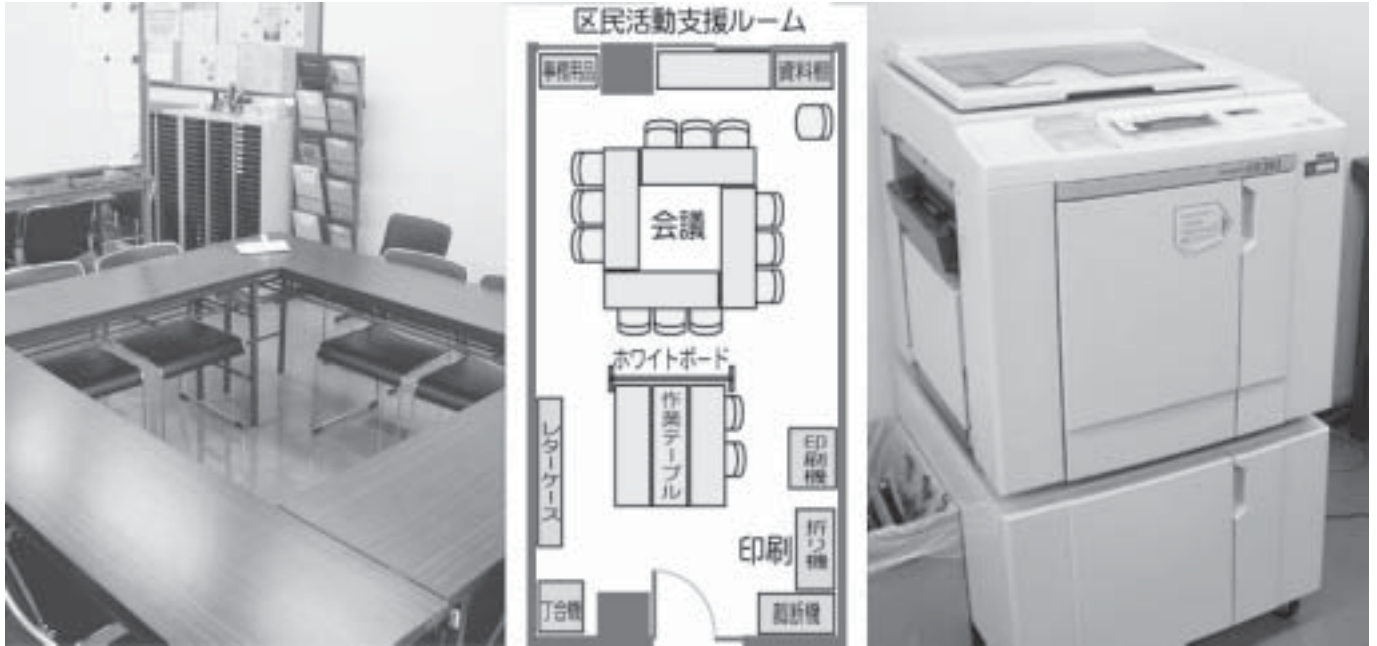




## 「区民活動支援ルーム」登録181団体に！

～小スペースでも機能はより充実をめざします～



麻生区区民活動支援ルームは平成14年4月に開室してからすでに3年目を迎えました。自主運営による地道な日常活動を積み重ねてきた結果、7月現在の登録団体数は181を数えます。市民の会の設立目的を達成するための活動として、市民活動を支える環境の整備がありますが、支援ルームはその活動を促進する上で大きな役割を果たしています。運営委員会のメンバーは市民の会会員を含む利用者によって構成されますが、毎年

増えて利用者自らによる運営という精神が浸透しつつあります。

すでに整備されている印刷機、紙折り機、断裁機、丁合機に加え、簡易製本機とラミネーターが新しく加わり、市民活動団体の活動をさらに支援することができるようになりました。

今年度は市民活動団体交流会開催の予定もあり、今後の活動がますます期待されます。

麻生まちづくり市民の会、今後のスケジュール(どの会も傍聴が出来ます。会場は区役所地域振興課に問い合わせ下さい)

- 運営委員会…………… 8月10日(火曜日)14時から、8月24日(火曜日)14時から
- 実践部会…………… 8月5日(木曜日)15時から
- パートナーシップ推進部会… 8月3日(火曜日)18時30分から
- バックアップ部会…………… 9月1日(水曜日)14時から

# 市民の手ですすめてまーす “まちづくり”

## 実践部会

### A．緑・環境小委員会

- ・麻生区の緑保全ネットワーク作り
- ・エコライフチャレンジのPR
- ・山百合を象徴とした麻生のまちづくり
- ・公園、緑地等の維持管理活動

\* 片平1丁目の葉積緑地の整備・保全活動について、状況調査。

### B．道路・交通小委員会

- ・コミュニティバスの件
- ・地下鉄の件
- ・岡上跨線橋付属歩行者用階段改善策
- ・「ひやり」マップ作成

\* 麻生区内の小中学生を中心に、危険箇所の集計をすることで、広く市民にも危険な場所を認識してもらいます。

### C．福祉・コミュニティ小委員会

\* 防犯活動や地域活動を通して、地域のコミュニティ作りに必要な人と人とのつながりを開拓中です。

公園・緑地チームは、管理の行き届かない公園・緑地の整備・保全の推進に取り組んできました。片平1丁目の「葉積緑地」もその一つです。6月19日（参加者10名）と7月3日（7名）、北部公園事務所のアドバイスに基づき、竹や葛蔓の剪定、除草、ゴミ拾い作業を実施しました。



緑環境チームは今年1月から愛護会の成功例をヒアリングした結果、周辺自治会などが熱心に愛護会をつくり保全活動をしている

ケースが、うまく管理・維持されているとのことです。今後も片平小学校の課外授業（9月）に協力する計画です。

## パートナーシップ推進部会

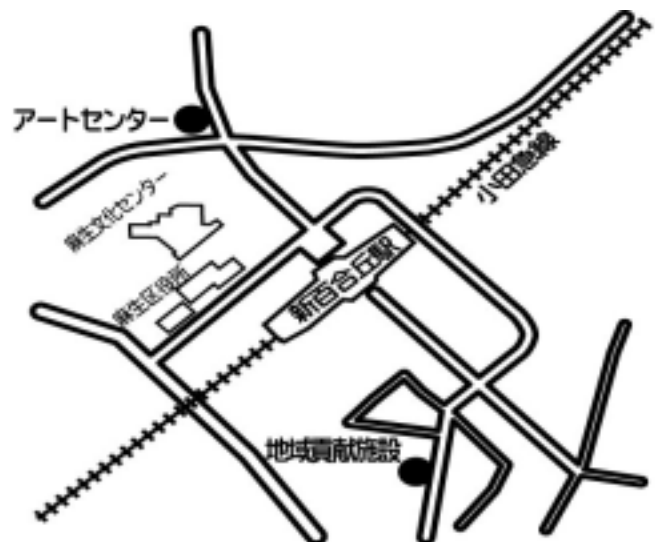
### A．アートセンター検討グループ

万福寺再開発で建設される、アートセンターについて、6月24日と7月14日アートセンターワークショップが行われました。住民の方々から様々な意見が出ました。グループ毎に分かれて現地を見学し、アートセンターについて色々な角度から話し合いをしました。今後の経過を注目してください。



### B．地域貢献施設検討グループ

昭和音大建設に伴う地域貢献施設のアウトラインが関係部門から明らかにされ、市民の会として協力する体制に入りました。



## バックアップ部会

### 交流会・学習会などの企画・実行小委員会

今年度は、市民活動団体が活動内容を高めるための参考になると思われるノウハウの提供を目的とした「達人シリーズ（計5回）」と交流の場を提供する「市民活動団体交流会」を企画・実行します。このうち、すでに実施された活動報告と7月8月の講習会をお知らせします

「広報紙、ちらしづくりの達人になろう」  
5月29日 講師：マイタウン21編集長岩倉宏司さん 具体的で実務的な内容が大好評で、パート2を希望する声が多く寄せられました。



「運営の達人になろう」1回目～経理の基本（7月31日） 2回目～組織作りと人材の確保（8月28日）講師：LET'S国際ボランティア交流会 代表 小倉敬子さん

市民活動団体の課題である、安定した組織運営による活動内容のレベルアップと公開に足りる経理の基本知識を2回に分けて実施します。講習会では、麻生区で活躍する市民活動団体からの事例報告も予定しています。

### 活動の場の確保と情報提供小委員会

区内にはまちづくりの活動や文化・体育活動など多くの団体やサークルがあり、これから活動したいと考えている人たちも沢山います。しかし、定期的集まって会合や活動をしたいと思っても適当な活動場所が見つからないという声を多く耳にします。

こうした声に少しでも答えるため、「活動場所」に関して公共施設、民間施設などの貸

し出し状況や貸し出しの可否について調査し、その結果を情報として広く活動団体に提供していきたいと考えています。

16年度は6, 7, 8月に公共施設、一部の民間施設など約70箇所を対象に照会調査を行なっています。さらに、第二弾として町内会などが管理・運営している多くの会館や集会所等についても呼びかけや協力依頼をしていきたいと考えています。また貸し出し可能な施設については直接訪問し、具体的な貸し出し条件等について打ち合わせを行なわなければならない所も多くあります。

ぜひ区民の皆様からの「活動場所」に関する耳寄りな情報の提供をお待ちしております。（連絡先：地域振興課）

### 情報検討小委員会

市民の会の情報伝達活動がさらに活性化するために、「初心者のためのパソコン講座」が開かれております。

第 期（6月15日より8月24日全11回）要望に従い第 期も予定計画中です。



### 区民活動支援ルーム

運営は、管理者が常駐せず、利用者を信頼し、その自主管理で行うをめざし進めて来ましたが、一部利用者にはこれらの理解不足があります。

今回僅かですが印刷料金の値上げをせざるを得なかった原因の一つに記入漏れがあったという事があります。そこで、すべての利用者が理解していただけるよう、集中的にアピールを始めました。

利用の内容を豊富にするべく、利用方法の工夫を重ね、少ない予算の中から事務機器の種類を増やすなど努力しています。

## コミュニティバスについて

去る5月27日(木)午後2時から、麻生区役所第1会議室において、「コミバス運行実験の結果等に関する地元説明会」が開かれ、まちづくり局交通計画課の梶原課長他、多数の区民が参加しました。コミバスについては、実践部会の道路交通小委員会が研究対象として取り上げています。

30日間運行実験を行った結果70万円の赤字とのことでした。会場からは以下のような活発な意見や質問が出ました。

かつての「麻生まちづくり会議」が出した提案とルートがちがう。回答：実験ルートについては、提案ルートを参考にしながら交通空白不便地域を対象とし、高齢者率が高く、路線距離として6～8kmを市の方で設定したが、その決定経過を説明していなかった。

100円バスが常識。回答：市内の路線バスとルートが競合するため200円とした。

8時～18時だが7時～19時を希望。回答：国庫補助を使用しているため実験のため制約がある。

車幅の狭いバスで運行すべき。回答：バス事業者が所有している中で最小のバスを使用した。

狭い道路に適したバスを使用すべき。回答：現在はなんともいえない。

さらに、武蔵野市のムーバスをイメージして、手を上げたら止まる、狭い道を時間通り走るなどを要望する参加者もいました。

一年のうちで一番寒い時期、それも今年は特に寒い日が多く、高齢者や幼児は外出は控えがちになる時期でもあり、乗車人数は普段より少ないという意見も出ました。今回の3

倍乗車すれば数字的には収支トントンになるのですが、今後の取り組みについては、地元協議会を作って各区ごとに取りまとめる方針が説明されました。実験だけに終わらせたくない。交通不便地域の解消のため、市内2箇所の中の一つの実験地として実施されたことに深く敬意を表し、さらに前向きに検討されるようお願いしたいと思いました。



## あさお区民まつり

今年で23回目のあさお区民まつりは10月10日の日曜日に実施されます。

住みよいまちづくりのために、区民のふれあいを深めながら、区民手づくりのまつりが開催されます。麻生まちづくり市民の会は、昨年仲間入りして、ファッションショーを開催し、大変好評でした。高齢者から赤ちゃんまでの、日常生活の中でのファッションを取り上げます。

### ファッションショー出演者募集中

応募資格：麻生区在住、概ね65歳以上の男女、車椅子や杖を使用の60歳以上の男女  
問い合わせは、区役所地域振興課まで。

応募締め切り：8月20日

**編集後記** 今回は区民活動支援ルームをクローズアップしてしてみました。利用登録団体もこの7月で181にもなっている反面、場所、かね、時間の関連からみると、充実させるべきところが多々あるようです。皆様のご支援、ご協力をお願いし、さらに発展して行くことが望まれます。

(鴨志田)

発行：麻生まちづくり市民の会広報委員会  
連絡・問い合わせ先：麻生区役所地域振興課 電話965-5116